

## 令和7年度釜石市水産審議会結果

### 1 日時

令和8年3月25日（水）13：30～15：00

### 2 場所

公益財団法人 釜石・大槌地域産業育成センター 2F 大会議室

### 3 出席者（敬称略）

#### (1) 出席委員（10名）

木村 嘉人会長、小川原 泉委員、佐藤 雅彦委員、千葉 博幸委員、工藤 飛雄馬副会長、  
前川 良子委員、佐々木 淳子委員、玉木 賢一委員、杭田 俊之委員、平井 俊朗委員

#### (2) 市側出席者

釜石市長 小野 共、産業振興部長 小山田 俊一、産業振興部 部付課長 立石 孝、  
水産農林課 課長補佐兼水産振興係長 萬 大輔、水産農林課 主事 遠藤 裕介、  
水産農林課 主事 飯塚 侑詩朗

### 4 傍聴者

なし

### 5 報道関係者

3社

### 6 議事録

#### (1) 開会

#### (2) 市長あいさつ

ご紹介をいただきました小野でございます。

どうもお忙しいところ、皆様におかれましては、水産審議会の方にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

2週間ほど前ではありますが、釜石市議会3月定例会が終了いたしました。漁業、水産等々に対し一般質問、或いは令和8年度の予算の議会でありましたものですから、様々な質疑等がありました。

やはり質問、或いは質疑の中心はですね、漁業の担い手の育成、そして水揚げの状況そして魚市場この3点に限られたと申しますか、そういった漁業・水産業につきましては、お話が集中したところでありまして、やはり議員の関心が高いということは市民の皆様の関心もですね、やはりかなり高いということはいえるんだろうというふうに思っておりました。

先日のマスコミ報道等によりますと、秋鮭のですね、令和7年度の水揚げが3年連続で過去最低を更新し、42トンであったという報道でありました。ご存じの通り皆様すでに体感されてるようですね。岩手沿岸或いは太平洋側のですね、釜石の主要の魚種の水揚げの不振というのがすさまじいものなんだろうと、強く認識してるところでありました。

その中で、頑張っていたいてるのはですね、サクラマスそしてギンザケなんだろうというふうに思っておりました。まず、令和6年度の水揚げが350トン。令和7年度が700トン、そして令和8年度、今期は1000トン为目标に水揚げが予定されているということに、本当に力強いような話があるというふうに思っておりました。

市の方針といたしましてですね、令和7年度、去年の8月の1日から31日までであります、サクラマスフェアということで、市内の15の飲食店を中心にですね、サクラマスの試食或いは食べれるという取り組みを進めさせていただいてるところであります。

いずれにいたしましても、皆様方のご意見、ご指摘等々本当に頼りにしておりますものですから、連携をさせていただきましてですね、今後とも水産、漁業の振興施策事業を進めさせていただきたいというふうに思っておるところであります。

令和8年度の新年度の新たな取り組みといたしまして、マネジメントアドバイザーというものをですね、市内の漁業に関係する加工屋さん、そして水産業者の方々と連携をいたしましてですね、そのコーディネーター的役割ですね、お1人雇用させていただきたいと。市の職員といたしましてですね、雇わせていただきたいというふうに思っておるところであります。これも何とか有効な施策につなげさせていただきたいというふうに思っておるところであります。

今後とも、今日含めてですね、皆様の忌憚のないご意見、ご指摘等々、お伺いをしたいと思っておるところであります。

今日は報告といたしまして、既に次第の方に皆様配らせていただいておりますが、魚市場或いはサクラマス或いは担い手の育成の取り組み等々、報告をさせていただきたいというふうに思っております。忌憚のないご意見をお伺いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### (3) 委員紹介

○出席委員、欠席委員及び事務局の紹介を行った。(委嘱状は予め各委員席へ配布)

○水産審議会条例第5条第2項において、審議会は、委員の半数以上の出席をもって成立することとされており、委員15名のうち、10名が出席しているため、会議は成立している旨報告。

### (4) 会長・副会長選出

○水産審議会条例第4条第1項の規定に基づき、会長及び副会長は委員の互選により選出されることとなっているが、委員から「事務局案の提示」の声があり、事務局案の会長に釜石市漁業協同組合連合会 会長の木村委員、副会長に岩手県沿岸広域振興局水産部 部長の工藤委員を提案し、承認された。

○会長、副会長選出後、審議会委員名簿を配布。

### (5) 会長あいさつ

会長の木村でございます。本日はお忙しい中、審議会に参集いただきありがとうございます。

さて震災から15年を迎えましたが、水産業は秋サケ等の大不漁や磯焼けによるウニ、アワビへの影響、或いはホタテガイの貝毒等、海洋環境の変化による課題が山積しております。加えて、震災前からの課題である高齢化に伴う漁業者の減少にも歯止めがかかっていない状況です。

本日は、釜石市の水産振興施策の取り組み状況等について報告をいただく内容となっております。現在の取り組みをお伺いしながら、これからの当市水産業の発展のため、委員の皆様からの積極的なご発言を期待するものです。

しばらくの時間、進行役を務めますので、よろしくお願いいたします。

(6) 報告

発言者	発言要旨
市水産農林課 萬課長補佐兼 水産振興係長	(1) 水産施策等に係る現状報告 ア 釜石市魚市場の水揚げ等について（資料1）から オ その他の取り組みについて （資料5）まで (2) その他 ア 釜石市水産振興ビジョンについて（資料6） の内容を報告。
工藤副会長	先程、ご説明頂いたサクラマス海面養殖事業に関連しますが、生産量が伸びているトラウトサーモン等を含む県内の養殖サーモン類を県外へPRする事業を次年度進めていきます。県の意向としても、市が県外でのPRを積極的にしてもらえようお願いします。
平井委員	今期、岩手県産養殖サーモンの生産量は約4000tに近づこうとしています。中でもニッスイが順調に拡大を行っていますが、サーモン養殖はいきなり海で育てるのではなく、一度川で育てる必要があります。そのため、岩手県でも宮城県でも稚魚を育てる業者の奪い合いが起こっています。また、育成場所となる池も限られるため生産量も限定されます。釜石の泉澤水産さんは遠野に自前の種苗生産基地があるため、当面の心配はないでしょうが。 また、山形県の水産業は岩手県の水産業同様、厳しい経営状態のなか、山形県漁協が庄内養殖事業コンソーシアムを立ち上げ、各支部の若手を中心に各種養殖事業展開への検討が始まっています。この中でサクラマスは山形の県魚であり、春のお祭りには欠かせないものであることから、飛鳥地域では地元での販売を視野においた サクラマスの養殖事業に関心を示しています。釜石同様に意欲ある地域事業者によるチャレンジであるため、岩手大学としても可能な限り協力できればと考えています。
杭田委員	新規漁業者の受入れには手続きのワンストップ化が大事だと考えています。また、外部から新規漁業者としてやってくる人たちに対して、どのような地域政策を行っていますか。また、漁村集落のコミュニティに入る事等への課題はありますか。
産業振興部 立石部付課長	4～5年前から担い手育成のチームを結成しています。 また、Iターンの受入れを行っており、地元の漁業者同席のもと、都市部の漁業就労イベントへの参加をしておりました。結果として、数名が入るものの、出戻りという形となっています。原因としては場の雰囲気馴染めない点や労働量に見合う収入が得られないと感じ、IT等の別業種に行く点が挙げられます。

発言者	発言要旨
	<p>そのなかで、水産アカデミーの卒業者については定着率が良いです。アカデミーには受講期間中に相談できるサポートアドバイザーの存在があり、卒業後も1年間サポートを行っています。</p>
<p>杭田委員</p>	<p>新規漁業者の就業先の待遇が最近では親ガチャと呼ばれるような運・不運で決まらないように、複数の場所を経験させるようにすると地域のコミュニティに根付いていくのではないのでしょうか。そういうことがもし可能であれば検討して頂きたいです。</p>
<p>立石部付課長</p>	<p>ありがとうございます。以前、新規就業所で親方さんのもとの就業していた方々の一番の課題として、親方さんのやっている漁業分野が休みになると何もやることが無く、離職に繋がるということがあります。杭田委員から頂きましたご提案は検討材料にさせていただきます。現在、岩手県の水産アカデミーを受けている生徒の中には、自営定置の乗組員になりながら、地域漁業の手伝いもしている方もいます。教授のご提案がございました複数の漁業種目に携わるようにする仕組みづくりを、新規採用を行うマネージャーとともに検討していきます。</p>
<p>玉木委員</p>	<p>今、釜石はサクラマスに頼るといえるのか、注力していると思うんですけど、買受人の方としては、サクラマスを扱える業者が、販売先とか、設備面で限られています。他の業者はそれぞれに得意部門があるため、それを活かせるような多種の魚種の水揚げをどうにか増やせるように頑張りたいです。これは回遊とかの問題で、しょうがないんですけど、近年では旋網が入りましたよね。それらにまた力を入れて頂くとか、後は他の廻来船だけに留まらず、地元船籍からは色々な種類の魚種が水揚げされるため、何とか頑張って水揚げしてもらえば、買受人の方としてもどうにか繋ぎ止めようと思って頑張っているところではあるので、どうにかよろしくお願ひいたします。</p>
<p>木村会長</p>	<p>ありがとうございます。そのとおりですね。サクラマスを取扱える業者は限られてくると思います。釜石市魚市場と致しましても、サンマは6億ぐらいの水揚げとなっていましたけど、旋網船につきましては氷の問題等がございまして、誘致活動には行ってませんが、これからいろいろ検討しながら、多種の魚種を水揚げできるように努めていかなければならないと思っています。</p>
<p>木村会長</p>	<p>各組合長の皆様からもなにかご意見はございますか。今、資料を見ますと、漁業者数は震災後半減しています。養殖事業もワカメ以外はかなり厳しいものとなっております、自営定置も今まではサケが来ていたから大丈夫だったんですが、現在は水揚げされる魚種も何が入るかわからないし、1月になってそろそろ終わりのころになり、イワシが入ってきたり、大変厳しい状況だと思っています。漁協経営も大変厳しいも</p>

発言者	発言要旨
	<p>のだと思いますけど、何かご意見ございましたらよろしくお願い致します。</p>
<p>小川原組合長</p>	<p>まず、この後継者不足。これが喫緊の課題で、うちの方も定置漁業の乗組員が年々少なくなってきた、定年退職を延長してやってもらっていますが、最近では漁業者の子供でさえも漁業を継がないで、例えば、釜石だとSMCに就職するとか、そういう風な格好になってきて、なかなか若い人が漁業を継いでくれないって言うのが現状です。</p> <p>それに今までであれば、定置はそれなりの金額で、乗組員についてもそれなりの報酬をもらえるからよかったですけど、最近ではもう基本給だけでなかなか間に合わないような格好になっています。ただ、去年の7月から黒潮の大蛇行が戻ったということで水揚げについても我々も期待しているわけですけども。昨年は1月にイワシがかなり獲れたもんですが、今年も1月ぐらいになったらくるのではないかと、2月まで定置をやりましたが、最終的には2月の末に若干獲れただけで、イワシも来なくなりました。</p> <p>だからこの定置は本当にまあ水揚げに左右されて、漁協でも困っているわけですけど、この定置をこれから運営していくためにも、やっぱりこの地元の後継者だけではなかなかできないから、三重県みたいに外国、例えばインドネシアとか、そういうところの就労者をお願いする。そのためにはどうしても住居がいるわけですけども、その住居についても、現在私のところの地区には戸建ての復興公営住宅が5個余っています。誰も入らないで。だから、そういうところを利用して外国の就労者をお願いするようなことを出来ないか、前に役所に聞いたんです。そういう施設を利用できないか。そしたら、これは災害の関係だから、外国人とかそういう人に対して住居を使ってもらえることが出来ないから駄目ですって断られた経緯があるんですよ。ただ、だれも入らなければ、毎年、毎年、高齢者がなくなると、1個、2個と空いてきているのが現状なわけですよ。</p> <p>ですから、その辺についても市の方でも検討してもらえれば。そういう外国人の就労者を雇用するっていう面でも一歩前に進むのかなと思っておりますので、その辺も1つ今後の検討の材料にして頂ければと思います。</p>
<p>前川委員</p>	<p>いつも東部さんにはお世話になってます。うちの孫の事なんですけど、北海道の網走の組合に所属しており、大学は農業大学ですが、大学4年間、農業と漁業でずっと稼がせてもらっていました。それで考えると、農業大学入ったけど、海が好きだっていう、よくよく東部の組合長さんは聞いてもらってるかもしれないけど、うちの孫は愛媛県</p>

発言者	発言要旨
	<p>にあるタイの養殖の本場に行ってます。</p> <p>それで3つの企業を1ヶ月ずつ渡って、午前中4時、5時に起きて現場に行って、あとは午後は事務とかそういうので。あとは1年に何回か東京のバイヤーのところに行って試食させたりも、ありとあらゆることに挑戦してるんだけど、その間に愛媛だから、みかん農家に行ってみかんを手伝ったり。</p> <p>タイってどんなもんかなと思って来たら、実はタイを扱うレストランは何でもすごく、それで人も来るし、観光地、高知から全部まわって来たんだけど、観光地の面もあるし、行って食べたいと思わせる何かがある。</p> <p>私は今、サクラマスの献立を見たんだけど、一般的なんだよね。こういう献立。いや、美味しいのはもともと美味しいものだから、こうやって一生懸命やってるけど、何かねあると思うんだよね。例えば、魚市場の上にレストランがあるんだけど、なんかこれ専門にその魚だけで食事を提供できるっていうのは、一般の人が払えるお金ね。</p> <p>でも、愛媛も安くはなかったですよ。でもタイ専門店が1箇所だけじゃなくていっぱいあるんだよね。</p> <p>設備、休みとか、お子さんがいないとか、魚が取れない。何かあるような、まあ上辺だけしかわかんないからあれなんだけど、あと私は今女性部に属してて、もう少しで75になるが、震災もみんな大変だったが、何か残したいと思って出てくるんだけど、それに関して、1つ今すごく思ってることは、男性中心で定置網を行い、お父さんのそういう都合もあって、私の日常は朝から晩まで一緒です。それで嫌だと思ったことはない。お父さんの仕事だしね、それが生活に結びつくと思うから。ただ、今言ったとおり、漁協、漁業のついてるお父さんと奥さんでさえも、ウニとアワビのときは来るけど、それ以外は来ないというわけで、どうなのかなって思う時もあります。</p> <p>アカデミーも一生懸命受け入れました。この子を一人前にしたいと思ってね。でもやっぱりそこの家族の応援もあるし、あとは今言った住居も4万、5万払ってるっていうから、本当にその半分ぐらいであればと思う時もあります。</p> <p>なぜかっていうと、うちの孫は立派な一軒家で女の子で、たった2万です。誰もいなくなったので、何とかそこをやりわり見させてもらって、私たち家族はみんな泊まります。だから、そういうところをシェアして、給料もまずまず良くしてもらって、みかん農家の人にも声をかけてもらって、どうにか地域でね、そういうふうにしてくれたから来て、1、2年したら辞めて帰ってくるのかなと思いきや、まだ辞める</p>

発言者	発言要旨
	<p>様子はありません。</p> <p>そんなもんで、まず、このサクラマスも売り先を調べますとか、何かここでね、ツアーの人だけじゃなくて、ここに行けばサクラマス専門の食事ね、そういうの取れるよっていう場を作り上げて、本当に魅力、ただ焼き魚だけじゃなくて、いろんなこと出来ると思うし、そこに私たち漁協女性部みたいなもんっていうか、昔は全部そうしてきたけど、そういうのを必要とするような組合の体制であれば良いし。男女っていったって、そういう時代でないからね。何かもう1つこう良いアイデアとかあれば、先生方の応援を得てね、そしてアカデミー卒業の人も頑張らせたいなと思いますが、やっぱり4年、5年となってくると、なかなか自分の寿命もあり、今魚取れない、何取れないってなるけど、この65、70になれば、私たちは生活の基盤はまずできてるのでね、その後に残ってもらうように、いい方法があったらみんな協力していきたいと思っています。以上です。ありがとうございます。</p>
立石部付課長	<p>サクラマスについては、今年は1ヶ月間のフェア、8月から1ヶ月間ということで、市内15軒の店舗さんにご協力いただいたんですけども、実はうちのフェアには参加していないものの、自分の店ではサクラマス扱ってますというお店屋さんがベースにあってですね、市内15店舗以上の店舗さんで扱ってもらってます。</p> <p>フェアの方では8月から1ヶ月間だけやったんですが、その通年で、今この3月時点でもサクラマスは使っている店舗さん出てきましたので、この流れはこれからもどんどん増やして行って、市内で通年、普通のお店屋さんへ行けばサクラマス、それこそ塩焼きだけじゃなく、ちょっとかっこいいのがサクラマスも食べれますみたいな形にはしていきたいなというふうに考えてました。</p> <p>あと、新規就業者とか若手の関係についてもですね、先ほどご説明したようなプロジェクトマネージャーという方と連携しながらですね、地域の方にも入って行って、より課題を拾い上げていきたいと思っていますので、多分前川さんの方にもお邪魔させてもう少しお話を聞かせてもらえたらと思いますのでよろしくお願いします。</p>
前川委員	<p>あと、サクラマスってあれなんですかね。鮭みたいに加工はできないんですか？干物にしたり。やってみたいとは思っています。</p>
立石部付課長	<p>出来なくはないです。ただ鮭よりですね、ちょっと脂身が強いんで干すとなると、ちょっと鮭とは違うらしいです。</p> <p>ママスなので美味しいのは美味しいですけど、鮭と違って干すのにはちょっと。</p>
佐藤委員	<p>荒巻にはならない。</p>

発言者	発言要旨
立石部付課長	脂身がちょっと違うので使い方が違うみたいです。
前川委員	<p>そうかなとは思ってました。岡山から来た人が荒巻食べたかったって、食べたことなかったんだって、15年前ですね。結構偉い人なんですけど、こんなに美味しいものがあるのかと。それもメスの腹割りを吊るして、このぐらいに厚く切ってと。こんなに美味しいの食べたことないって言われちゃったの。</p> <p>だからサクラマスでもこういうのができないのかなと。</p>
立石部付課長	<p>同じサケ類なんだけど、脂身が違って、まあ鮭と違うやり方で作る方法、これから探せねばみたいな感じだと思います。あと、先ほどの小川原さんからの、復興公営住宅の関係ですけど、震災直後からは条件若干緩和されるんですが、詳細につきましては担当部署と相談していきたいと思います。</p>
佐々木（淳）委員	<p>いつもお世話になっております。度々、東部の前川さんのお孫さんの立派なお話は聞かせていただいているんですが、頑張っている方がおられることは存じ上げておりますが、岩手県のアカデミーの卒業生もなかなか立派な方々がおられまして、岩手県のYOUTUBEで、アカデミーのコマーシャルに、僭越ながら釜石湾の女性部もちょこっとだけ登場させていただいたんですが、その中でアカデミー卒業生の女の方が数名、大変いろんな角度から漁業を捉えて、活動されている方々が登場しておられました。その中で、我々も、参加させていただいたわけですが、なかなかやる気でもとても素晴らしいと私は感じました。なかなか捨てたもんじゃないよってところがお話したいです。</p> <p>それからもう1つ、先ほど組合長さんはお話になりませんでした。80戸足らずの尾崎白浜なんですが、最近、移住者が2名おられまして、空き家バンクで家を買って取られて、最近、毎晩電気がつくようになりました。</p> <p>4月から釜石の定置に乗られて漁業をされるそうです。田野畑の方から見えたと夫婦で。ぜひ釜石に海の見えるところで暮らしたいと話されて、移住されたんですが、何分、どこの女性部も悩みの種かと思うんですが、高齢化で女性部員が減っておりますので、ぜひ白浜に根付いてどうか暮らされて、ぜひ奥様には女性部に入っていたきたいものだなというふうに考えております。もともと、定置網に乗った方らしいんですが。是非印象よく地元にてほしいし、もう少し先には歓迎会をさせていただきたいというふうにも考えております。</p> <p>組合長さん、どうぞよろしくお願ひします。</p>
小川原委員	移住者の方は復興公営住宅に入居したのですか。

発言者	発言要旨
佐藤委員	復興公営住宅ではない、一戸建ての物件に入居しています。移住者の件はこの場で披露する必要が無いと判断し、発言しませんでした。
佐々木(淳)委員	それはすみませんでした。もうひとつ良いですか、この前、3月3日に東京で農山漁村女性活躍表彰の表彰式がありまして、審査委員特別賞というのを白浜浦女性部が頂戴しまして、組合長さん、釜石湾漁業協同組合、それから県や市、もちろん、地域おこし協力隊の方々、いろんな各方面から支えて頂きまして、このような賞を頂戴しましたので、僭越ではありますが、ご報告させて頂きたいと思っております。どうもありがとうございました。

### ○市長より総括

長時間にわたりまして、様々なご意見、ご指摘をいただきました。サクラマス、ギンザケ、海面養殖の話でありますとか、担い手の育成、そのIターンの方々の方ですね、住居の問題等も話されたところであります。

漁業者の担い手の不足というフレームがやっぱり1つの問題であると、我々もその認識であると同時にですね、漁村の方ですね、人口減少対策という面をですね、私はやはり大きい課題なんだろうというふうに思っておりました。

漁村におけるですね、町内会でありますとか、役員のなり手がいなくなったりとかですね、やはりそれも大きい課題なんだろうというふうに思っておりました。その中で、例えばその漁業を職業として選ばなかったとしても、例えば漁村にですね、Iターンしてくれる、Iターンと言ったら、表現曖昧ですけども、移住をしてもらえるとか、そういったようなこともですね、1つの考え方なんだろうというふうに思っておりました。

年に1回という会議でありますけれども、皆様の忌憚のないご意見をですね、今日、大学の先生がおいでであります。専門的な見地からのですね、様々なご意見賜りたいというふうに思っておりました。いずれにいたしましてもですね、今後の釜石の水産漁業行政、かなり危機的な状況まで落ち込んでいるというふうに思っておりました。

行政だけでは対応できない問題も多々あるんだろうというふうに思っております。ワンチームでですね、あたっていきたいというふうに思っておりますものですから、どうか今後ともよろしくお願いをいたします。今日は本当にありがとうございます。

### (6) 閉会